



NSバトルクライ

#212

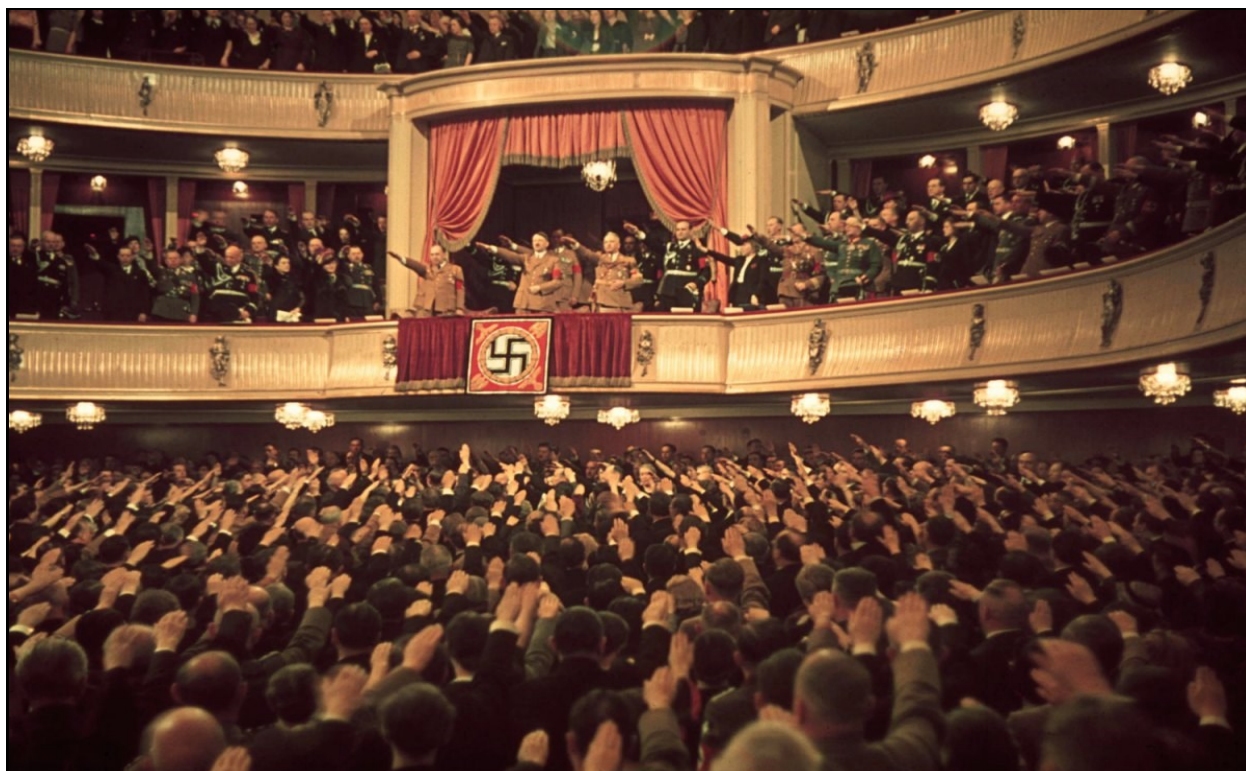
12 / 2024 (135)

百科事典 - ミヒャエル・キューネン

134 - 会則

憲法とは、国家共同体の内部秩序、国家の存在意義と目的、国家と国民との権利義務関係を記述し、拘束力をもって定義する政治文書である（平等も参照）。憲法制定権は国家主権の重要な一部である。憲法の強制力と永続的な拘束力が主権国家を特徴づける！

国家についての国家社会主義の理解に従って、すべての主権は国家から発せられ、国家だけに属する。したがって、国家は、国家社会主義の民族国家における憲法上の権威であ



る。国家社会主義党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）は、民族の組織化された生きる意志であり、民族の政治的前衛組織である。したがって、その指導的役割は、国家社会主義憲法の性格と形式を特徴づけ、全体にわたって決定する。

ドイツは1945/56年以降、全体としても、構成共和国としても主権を有していない。したがって、そのような名称にふさわしいドイツ憲法は存在しない。このことは、新戦線の信条共同体が、ドイツ連邦共和国（FRG）の国家改革を目指していることを説明している。今日、この憲法を詳細に予測することは不可能であり、意味もない。しかし確かに、この憲法には次のような基本規定が含まれている：

- 1.国家社会主義民俗国家の存在意義は、国家を担う民俗の類型の保存と発展を確保する義務である。
- 2.国家の自由、主権、独立へのコミットメント。
- 3.したがって、政府首脳は常に党首と同一であり、象徴的な国家元首は君主である場合もあるが、必ずしもそうではない（「君主制」を参照）。
4. 十分な居住空間の必要性というドイツ人の生存問題を解決できるのは、第四帝国の建設だけである。
- 5.私利私欲の前に公益」という原則に従って市民の権利と義務を定義し、民衆同志のみが市民になれると規定すること。
- 6.人種法の復活と憲法秩序への定着。
- 7.国家社会主義元老院を、総統に次ぐ国家と党の最高権力中枢として設立し、総統を選出する権限のみを与える。
- 8.NSDAP党綱領の第25項（コーポラティズムを参照）ですでに要求されているように、専門職を基礎とする中央議会としての人民代表制。
- 9.無利子で社会主義的な経済秩序の確立（利子への束縛と社会主義を参照）。

135 - 国有化

国家社会主義ドイツ労働者党は、ドイツ社会主義の党であるため、社会主義的民族共同体の建設に努めている。これは、コーポラティヴィズムという経済形態で実現され、民衆の類型の保存と発展のために方向づけられた計画的国民経済という考えに基づいている。この計画と統制を可能にし、生産手段の私的所有に基づいて人民と敵対する権力構造を粉碎するためには、NSDAPの党綱領の第13項で要求されているように、国有化が必要である。

同時に、生産手段の私有が完全に阻止されるわけではない。国家社会主義党は、所有権ではなく、支配権、ひいては生産手段に対する処分権を重視している。これによって、国民経済から生じるいかなる力も権力も、国家の総動員によって、すべての民衆的なエネルギーと力の結集に害を及ぼすことはできないが、すべてが国家の重大な利益に従属することが保証される。したがって、原則はこうである：国有化できるものを国有化するのではなく、国有化しなければならないものを国有化する。これに基づいて、新戦線の思想共同体は要求する：

すべての銀行、保険会社、その他の金融企業を国有化し、通貨と金融を国家のみが管理できるようにする。

すでに社会化されている企業はすべて国有化される。なぜなら、その無名かつしばしば国際的な所有権は、国民経済の自由と独立性を脅かし、その容易な計画と管理を脅かすからである。

主要産業の国有化。いずれにせよ、国民経済の自立と繁栄がかかっているため、国家の直接管理が必要な社会化企業がほとんどである（「自国主義」も参照）。

明らかに個人所有である農場は、主要産業に属していない限り国有化されない。それどころか、新戦線は、中産階級による所有の促進に努めているが、その条件として、労働のない楽な収入につながらないことが挙げられている。

金利への束縛を解いた後、国有化による国家収入の増加により、国民経済の社会化が進むにつれて大幅な減税が可能になる。これらはすべて、イデオロギー的な教条主義もなく、性急さも盲目的な狂信もなく、国家社会主義の基本法則に従って行われる：

公益は私利私欲に優先する！

136 - 国家共同体

国家社会主義は、「一つの世界」や統一された「人類」という概念を、自然に反し、生命に敵対する教条主義として否定する。このような考えは、あらゆる色合いの国際主義のイデオロギーと人類の平等のイデオロギーから生まれ、最終的には世界支配の目標に行き着く。

対照的に、国家社会主義は、自由、ひいては人種と民族がその種類と本性に従って発展するという思想と目標を表している。人間は人種的、民族的な仲間としてのみ人間である。このことから、国際主義のあらゆるイデオロギーと、その目標である世界支配を全面的に否定することになる。異なる人種と民族が共存するための最高の可能性と意味のある形は、大陸的な大面積の秩序における、人種的に分割された民族の共同体を基礎とする世界秩序である。

したがって、世界運動としての国家社会主義は、アーリア民族の組織化された生命意志としての国家社会主義は、新秩序の枠組みの中で、すべてのアーリア人、すべてのアーリア人の生活空間、すべてのアーリア人の勢力圏を包含するアーリア人の民族共同体を建設しようと努めている。

国家社会主義ドイツ労働者党がヨーロッパに勝ち取ろうとする第四帝国は、ヨーロッパの大きな秩序として、このアーリア系民族の共同体の重要な礎石となるが、アメリカ大陸、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカのアーリア系民族や、東インド・ヨーロッパ主義を通じてアーリア文化の影響を受けたアジア、トルコ、ペルシャ、大インドのアーリア系人種の分派も含まれることになる（アラブ人、トルコ人、パール人を参照）。

137 - フォーキッシュ・ムーブメント

民衆運動とは、すべての思考と行動の中心に人民とその生存とより高い発展を据える政治的潮流である。民衆的運動は、他のすべてのものを、自らの民衆の型の保存と発展に従属させ、そこからすべての基準を獲得する。このように、フォーリッシュ運動は、政治的領域における民衆の生きる意志の表現である（「意志」参照）。その目標は、民族的国家の樹立であり、この国家は、総動員において、民族共同体のすべての生命表現、エネルギー、力を包含し、組織し、型の保存と発展という目標に向けて方向づける。

ドイツにおける民俗運動は、ロマン主義とナポレオンに対する解放戦争に根ざしているが、明確な政治運動として現れるのは19世紀後半になってからである。民衆運動は民衆の生きる意志の表現であるため、その民衆や民衆と同様に多面的であり、最初から断片的であることが証明されている。ドイツでは、ドイツ民族主義、社会主義、全ドイツ主義、反ユダヤ主義、積極的キリスト教、新異教主義などの組織や運動が乱立し、混沌としている。この分断の中で、民俗運動はその任務を果たすことができないことが証明された。第一次世界大戦が新しい生活態度を生み出し、そこから国家社会主義が誕生すると、この状況は一変する。

国家社会主義と民衆的世界観は同一である。国家社会主義は、国家社会党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）の創立、闘争、権力の掌握を通じて、民衆主義運動を実現する。同党は民衆主義運動のバックボーンである。同党が闘った国家社会主義的フォーク国家がフォーク主義国家である。総統原理に従って組織され、民衆の生きる意志の担い手となる国家社会主義党がなければ、第二次世界大戦の敗戦とNSDAPの粉碎の後に明らかになったように、民衆運動は再び混乱に沈む。

終戦以来、ドイツの国家社会主義者たちは、退廃を克服し、国家の自由を取り戻すために、ドイツ国民の生きる意志を復活させ、再編成する政治的方法を見出そうとしてきた。そうすることで、彼らは、多くの点で旧民主主義運動の鏡像である国家社会主義運動を形成し、形成し続けている--とりわけ、その不幸な歴史的分断を。党の再確立によってのみ、その政治的任務を果たすチャンスがある。指針はこうでなければならない：**運動から党へ！**

この発展の中にこそ、フォーク運動の課題がある。このために、ドイツ連邦共和国では、「ノイエ戦線」（*Gesinnungsgemeinschaft der Neuen Front*）が闘っている。このようにして、民族運動の政治的道は、国家社会主義党の再確立、国家社会主義革命、国家社会主義民族国家の建設を経て、新秩序の樹立に至るが、そこでは党は不要となり、民族運動のあらゆる接近と傾向は、全体的秩序の枠内で自由に発展し、実現することができる。

138 - フォーク

知識の科学的理論として、また国家社会主義の基礎として、生物学的ヒューマニズムは、人間を共同体的存在として理解し、自然的・文化的共同体に統合されるとみなす。人の人生において最も重要な共同体は、その人である。言語的、文化的な共同体へと成長することによってのみ、人間はその共同体に溶け込むことができる。自分の民族の言語的、

文化的、歴史的共同体の中で成長することによってのみ、人は人間となり、自分の人生に価値と意味を持つようになる。国民共同体の基礎と核は家族である。

フォークとは自然な共同体であり、フォークへの加入は自由意志によってではなく、生まれながらの運命によって決まる。フォークとは、同じ血が混じり、共通の言語、文化、歴史を持つ人々の共同体である。言語、文化および歴史は、民俗の生物学的性質、その種類、その国民性、およびその生息地の生物学的特殊性と地政学的状況に由来する。型の発展と歴史的発展の過程で矛盾が生じ、生物学的性質と文化的発展が一致しなくなれば、それは退廃に至る。これが今日のマイナス世界を決定している。国家社会主義は、これに対する答えであり、それゆえ、型と自然にふさわしい発展の新秩序を目指している。

すべての人間は民族に生まれ、幼児期から、最初は無意識のうちに言語を習得する。文化と歴史意識、言い換えれば伝統を。こうして一人前の人間、人民の同志となる。しかし、他のすべての生命体とは異なり、人間には自由意志がある。だからこそ、国家は、その国民が意識的に自らを国家共同体のために置き、利己的なブルジョア的態度（ブルジョアジー参照）を克服し、労働者階級の倫理への道を見出すことによってのみ、長期的に生き、発展することができるのである。

民族共同体への意志が国家を創る！

国家社会主義は、その目標を種の自然な保存と発展に置いており、したがって、民衆の意志の担い手であり、民族の前衛である党を生み出す民衆的運動である。ドイツでは、国家社会主義ドイツ労働者党が、閉ざされた中央ヨーロッパの生活空間に定住するドイツ国民から、統一された自由で独立した国家を生み出すために、この任務を果たしている（「自由と主権」も参照）。

139 - ポピュラー教育

少数のキャッチフレーズだけで、できるだけ多くの人々に影響を与えることを目的とするプロパガンダとは対照的に、大衆教育（党内では研修）は、限られた人々にできるだけ多くの話題と文脈を徹底的に説明する。プロパガンダの目的は影響力を与えることであり、大衆教育の目的は知識と見識を与えることである。プロパガンダは、大衆啓蒙によって獲得された人々を説得することを目的としており、大衆啓蒙は、プロパガンダによって広められたものを深めることを目的としている。民衆啓蒙とは、内なる戦線の強化--闘争時代には党の強化（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）、革命後には全人民の強化--を意味し、常に国家社会主義の世界観・人生観に奉仕するものである。

プロパガンダは常に攻撃的である。しかし、民衆教育は、敵の残虐なプロパガンダを追い払い、党と人民を外部からのあらゆる有害な精神的・霊的影響から免疫する役割も果たす。特にドイツ国家社会主義は、敵対的な残虐行為の嘘の絶え間ない弾幕の下にある（ホロコースト、戦争罪悪の嘘、独裁も参照）。プロパガンダと大衆教育はともに、国家の自由のために戦い、それを確保する。それらは勝利への鍵である。

国家社会主義の民衆国家（「国家」を参照）では、民衆教育の重要性はさらに高まり、民衆の包括的な国家教育となる。それは、少なくとも3世代にわたって国民の知的生活を形成し、その結果、最終的に新秩序を実現するための重要な基礎を築く。

140 - フォーク・コミュニティ

人間は共同体としてのみ生存可能であるという生物学的ヒューマニズムの科学的洞察に基づき、国家社会主義は、その思想と政治行動の中心に共同体を据える。このようにして、啓蒙革命によって形成された個人主義を克服する。この個人主義は、今日まで自由資本主義の退廃的なマイナス世界を特徴づけており、その一方で、粗雑な唯物論と利己主義に墮落している（退廃とブルジョアジーも参照）。

人の人生において最も重要な共同体は、その民族である。その民族の言語、文化、伝統、歴史の中で成長することだけが、その人を人間たらしめている。自分の民族に献身し、この民族の型の保存と発展のために全身全霊を傾けて立ち上がる努力が、その人の人生を価値ある有意義なものにし、その人を民族の同志、人格者にするのである。これが労働者階級の国家社会主義的倫理の核心である。

フォークとは自然共同体であり、人間生活の生物学的現実である。近代におけるアーリア民族の悲劇的な歴史（アーリア人を参照）の結果、アーリア民族は自らの本質から疎外され、利権集団、政党、イデオロギーによって引き裂かれ、自然に反する教条主義を持ち、現在に影響を与え、形成している（キリスト教、マルクス主義、フリーメーソン、国際主義を参照）。こうした影響は、アーリア人を統計的な量に変え、疎外され、部分的には過剰に疎外された大衆に変えてしまった（*Überfremdung*参照）。民衆の自然な状態、民衆共同体はもはや現実のものとはなりえず、それゆえ政治的目標となった。国家社会主義世界運動とその各国政党、ドイツでは国家社会主義ドイツ労働者党の目標である。

国家社会主義は、共同体への意志、すなわち民衆的社会主義を通じて、真の民衆の共同体のために闘い、それを民族の自由への意志、すなわちナショナリズムと結びつける。国家は、民衆の意志による政治的共同体である。それは、真に健全な民衆の共同体に基づいてのみ現実のものとなる。だからこそ、指導者アドルフ・ヒトラーが『政治的遺言』に記した最後の意志と思想は、民衆の共同体のためにあったのだ：

「前線の兵士たちの犠牲から、そして私が死にものぐるいで兵士たちに愛着を抱くことから、ドイツの歴史において、民族社会主義運動の輝かしい再生、ひいては真の民俗共同体の実現のために、何らかの形で再び種が芽吹くだろう。」

これは、不変のゴールと同時に、進むべき道も示している：

真の民衆共同体の実現には、国家社会主義運動の輝かしい再生、すなわち国家社会主義党の再確立が必要である。なぜなら、これこそが民衆の意志の唯一考えられる正当な担い手だからである（正当性も参照）。

鉤十字の下で楽しむ

国家社会主義活動にも、明るい瞬間がある！以下は、ゲルハルト・ラウクの小冊子『鉤十字の下の楽しみ』からの抜粋である。

47.

ロックウェル・ホールはその運用の歴史の中で数々の攻撃に耐えてきたが、その中には深刻というより滑稽なものもあった。

ある日、当直が建物の正面を「ドスン！」と叩く音を聞いた。ドアを開けると、矢が刺さっていた。「厄介なインディアンだ！」と彼は驚いた訪問者に説明した。

時々、ブラウンシャツを模したブードゥー人形が何者かによって本部の前に置き去りにされたが、ストームトルーパーから副作用の報告はなかった。

ある夜明け直後の早朝、2階建ての本部の屋上で見回りをしていた眠そうな当直士官が下を見ると、大きな白いキャデラックが下の通りに停車していた。太ったユダヤ人が降りてきてトランクに回り、そこから大きなコンクリートの塊を取り出した。彼はそれを頭上に持ち上げ、ロックウェル・ホールの正面に投げつけようとした（まさに石器時代の攻撃だ）。突然の耳障りな音に驚いたユダヤ人は、足元のコンクリートを落とした。彼は片足で飛び跳ねながら自動車の前部座席に戻ると、急いで退却した後、サイレンを鳴らしながら、71st Streetを猛スピードで走り去った。

48.

私はテネシー州でコンピュータ掲示板を運営している。ある朝、起きてからコンピュータの発信者ログをチェックし、夜中に誰がログインしていたかを確認した。驚いたことに、"New York Jew"という名前でログインした新しいユーザーがいた！すぐにシステムを開いてこの人物が残したメッセージを見たが、驚くなかれ、侮辱的で卑猥な内容だった。削除しようかとも思ったが、代わりに返信することにした。

その日の午後、この人物が再びログインしてきた！私は今度こそ覚悟を決め、キーボードを持ってその動きを見ていた。このユーザーを強制的にシステムから退出させる準備をしていたとき、私はもっといいアイデアを思いついた。強制チャット」機能を使って「ハイル・ヒトラー！」と入力し、反応を待った。コンピュータの電話モデムで慌ただしい動きがあった後、"caller dropped, no carrier."というメッセージが表示された。

私はコーヒーを飲みながら、このニューヨークのユダヤ人に静かに笑いかけた。



NSDAP/AOは、世界最大の
 □□□□□□□のプロパガンダの供給者！
 多言語の印刷物およびオンライン定期刊行物
 □□□に及ぶ多言語の書籍
 □□のウェブサイトが多言語で提供

購読申し込みフォーム

() NSバトルクライの定期購読 (今後 12 □□)。30,00ユーロまたはUS\$30.00。[ご希望の言語版をご指定ください]

() 寄付 - あなたのサポートが私たちの活動を可能にしています。

Name _____

Street _____

都市名 _____ 郵便番号 _____

Country _____

(オプション) 電子メールアドレス / 電話番号 _____

小切手の宛先は以下の通りです。NSDAP/AO

郵送先NSDAP/AO - PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA (または "NSDAP/AO" を省いてください。)